



ファンドマネージャー 秋野 充成の AKINO REPORT

代表取締役社長 秋野充成



いちよしアセットマネジメント

FM 今月のポイント (2025 年 10 月)

＊日経平均株価は 9 月 25 日に 45754.93 円の高値を付けた後、10 月 1 日まで 4 日続落、44550.85 円まで切り下げていました。外国人投資家が 9 月 2 週以降、現物を売り越していること（9 月 4 週まで 1 兆 5400 億円売り越し）、金融機関が期初でリバランスを活発化させたことが背景です（債券の損失確定を株式の益出しで補填）。しかし、10 月 3 日の日経平均株価は 832.77 円の上昇となり最高値を更新しました。期初のリバランサー巡と、外国人投資家のショートカバーが主因です。尚、外国人投資家が買い意欲を高めた理由は、中国、韓国市場が休場のため、代替的に日本株を買い増した可能性があります⇒中国国慶節が終わる 9 日以降の日本株売り再開は要注意です。

＊米連邦議会が、つなぎ予算案を可決できなかったことから（民主党はつなぎ予算案に医療保険制度改革法（オバマケア）の保険料補助の延長やメディケイド（低所得者向け公的医療保険）予算削減の撤回を盛り込むよう要求。共和党はこれを拒否し、交渉は行き詰まったままだ。民主党はまた、議会が承認した歳出の執行を大統領が拒否できる権限に新たな制約を求めている）10 月 1 日から政府機関閉鎖が約 7 年ぶりに始まっています（トランプ政権の 2 期通算では 3 度目）。過去の政府機関閉鎖は、比較的短期間で終了（2018 年は 35 日間）、実体経済への悪影響は限定的で、株価の下落要因とはなりません。3 日の雇用統計発表も延期されましたが、米国株式市場は堅調、NY ダウ、S&P500 指数は最高値を更新中です。

＊政府機関閉鎖もゴルディロックシナリオの確度を低下させることはありません。9 月の雇用統計が不明な中で、10 月 FOMC での利下げ確率は 80%以上を維持しています。現状はゴルディロック相場ながら過剰流動性相場（中立金利の 3%まで政策金利が断続的に低下すると想定されている）にバイアスがかかっています。9.8 倍台（9 月 5 日）まで低下していたハイテク集中度（ナスダック 100 指数/ラッセル 2000 指数）が 10 倍台（10 月 3 日）まで拡大しています。また、2024 年 7 月 8 日の高値（5904.535 ポイント）を抜けた SOX 指数は青天井状況です（10 月 3 日：6583.74 ポイント）。日本株も米国株式市場の状況に呼応、半導体感応度が高い日経平均株価の上昇が顕著で、NT 倍率は 14.62 倍まで上昇しています（9 月 3 日：13.75 倍）。当面は、NT 倍率の上昇が想定されます。

＊自民党総裁選で高市前経済安全保障相が自民党総裁に選ばれました。事前のマーケット想定では小泉農相の勝利を前提としていたため、大きなサプライズとなります。小泉農相が総裁になった場合、株式市場にはポジティブ要因が少ないと見られ、総裁選後は、ほぼ無風と考えられていたため、週明けの国内株式市場では、所謂、高市トレードが活発化すると思われます。ポイントは積極財政推進を外国人投資家が素直に評価して、ショートカバーが中心ながら、日経平均先物のポジションを積み上げるか否かです。高市氏自身、総裁選に際し、「責任ある積極財政」を掲げており、消費税減税を選択する可能性はありません。超長期金利が上昇するリスクは限定的でしょう。日銀の 10 月利上げは難しくなりましたが、ドル円が 150 円を突破する事態になった場合は、10 月利上げの蓋然性は高まります。国民民主党との連立が早期に合意できれば、政権の安定性が増し、国内株式市場の上昇幅、上昇期間によりポジティブです。当面の日経平均株価の上値は 47500 円程度を想定しています。

裏面をご覧ください。

『 重要な注意事項 』

- この資料は、市場の現状の説明資料の一部としていちよしアセットマネジメントが作成し、いちよし証券がいちよしアセットマネジメントとの営業代理契約に基づいて提供するものです。未許可での使用、複製の作成や発表は法律で禁じられております。
- この資料は、いちよしアセットマネジメントが信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて同社により作成されたものですが、過去から将来にわたってその正確性、完全性を保証するものではありません。
- この資料は、投資の参考となる情報の提供を目的としたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。
- この資料に掲載されたデータ・グラフ等は過去の実績またはシミュレーションであり、将来の成果を示唆、あるいは保証するものではありません。また、記載された見解等の内容はすべて作成時点でのいちよしアセットマネジメントの判断であり、今後予告なく変更されることがあります。
- 投資一任業務による有価証券投資は、株価の変動により、または発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。投資運用によって発生する損益はすべてお客様に帰属します。したがって、預貯金とは異なり投資元本が保証されているものではなく、一定の運用成果を保証するものでもありません。

○諸経費および投資リスクについて

- 投資顧問料については、契約資産に対して年金料率で最大0.4536%(税込み)の報酬をいただくこととなります。また、契約により所定の成功報酬をいただく場合があります。その他売買手数料等の間接的な経費がかかりますが、経費の総額については委託した証券会社により手数料率等が異なるため、上限額等を表示することができません。
- お客様のために行う取引については、株式、新株予約権付社債、公社債等の有価証券に投資しますので、国内外の経済・政治情勢、金利変動、発行体の業績や財務状況等の変化の影響により、投資した有価証券の価格が下落し、損失が生じるおそれ(外国証券は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれ)があります。
- 信用取引やデリバティブ取引を行う場合は、差し入れた証拠金等の金額以上の取引を行う可能性があるため、原資産となる有価証券や指数等の価格変動により、差し入れた証拠金等を上回る損失が生じるおそれがあります。また、デリバティブ取引等の額の証拠金等の額に対する比率は投資方針や市場の動向等により変化するため、その比率を事前に示すことができません。
- 諸経費およびリスクについての詳細は、契約締結前交付書面をよくご覧ください。

商 号 等： いちよしアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第426号
加入協会： 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会